

附属学校



附属幼稚園 捨ててしまう前に遊んでみよう 「あるあるコーナー」の取組

附属幼稚園

教育



【活動概要】

附属幼稚園では、家庭と協力して、空き容器を回収しています。子どもたちが食べたお菓子の箱やペットボトルなどの空き容器を登園時に親子で持ってきて、回収の箱に入れます。子どもたちが使いやすいように、保育者がそれらの空き容器を「あるあるコーナー」に分類して置きます。この「あるあるコーナー」は保育室前の廊下に設置されていて、すぐに使うことができます。子どもたちは、発想豊かに、空き容器を使って様々な遊びを展開していきます。また、各保育室では、画用紙や色紙などまだ使用できる物は、子どもたちで判断して「まだつかえるよ」の箱の中に入れます。「もったいない」「すぐに捨ててしまわない」そんな気持ちを育てていきます。

子どもたちの物作りや遊びは、家族を巻き込み、自然と資源の有効活用に取り組む姿につながっています。



空き容器を親子で持ってくる回収の箱



みんなが使えるあるあるコーナー



色紙、画用紙まだつかえるよ



お菓子の箱でバッグを作るよ



ペットボトルに色水を入れよう

いろいろな遊び
考えられるね



新聞紙のプール



牛乳パックで ドングリ迷路

【担当】清水早愛（附属幼稚園）

附属小学校4年生 わたしたちにできるSDGs 世界に目を向けた学習より

附属小学校

教育



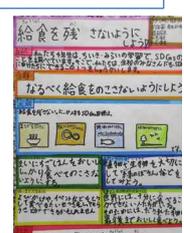
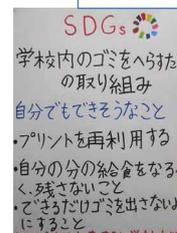
【活動概要】

附属小学校4年生は、総合的な学習の時間(ちいき・みらい)に「国際理解」をテーマとして、世界に目を向けた学習を行っています。鳥取大学の留学生との交流を通して学びを深め、視野を広げることをねらいとして学習を進める中で、子供たちから「世界の環境について調べて報告したい」という思いが出てきました。SDGsの考え方、達成目標、現状などを調べ、自分たちにできることを実りの学校(2月2日実施)で保護者に伝えました。

その後、「学校」「家庭」「地域」でできそうな具体的な取組を考え、ポスターや動画を作成しました。学校で「給食を残さず食べること」「ゴミを減らすこと」「節水」などと呼びかける活動を通して、「給食を食べ切る日が増えた」「自分の持ち物を大切に使うようになった」「手洗いのときに使う水を減らすように心がけた」といった成果が見られました。



発表の様子（実りの学校）



作成したポスターや動画の一部

【担当】繁内 靖彦(附属小学校)

芝生のメリットを生かした環境整備 ～持続可能な校庭全面芝生化への挑戦～

附属小学校

教育、学校運営



3年生以上の子供たち・職員・保護者ボランティアで苗植え
3000㎡に
12000ポット!



6月4日

水やり

【活動概要】

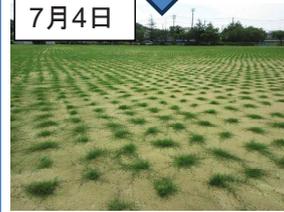
附属小学校の校庭は、以前より一部芝生化されていたが、運動会シーズンにはトラックの一部入り込んでいる芝を取り除くという全く生産性のない作業をしていた。そのような中、せっかくの芝を生かしたいという思いから、保護者・職員・子供たち・外部の協力を得て、校庭の全面芝生化の取組を行った。今後の維持管理について、持続可能な仕組みを模索中である。芝生化のメリットを、次にあげる。

- 砂塵を防ぐ…気持ちよく風が吹いている日は、砂が入ってくるのを気にせず、窓を開けて自然の風を教室内に入れることができる。
- 思いっきり遊べる…転ぶことやけがをすることを気にしないで思いっきり遊ぶことができる。
- 緑は人に優しい…緑の芝生は目にも優しい、心も癒やされる。芝生に座って本を読んだり、友達と話をしたり…。今まで室内で遊んでいた子供も外で過ごすことが期待できる。
- 地球にもやさしい…芝生は保湿力が有り、日光の照り返しを緩和する効果が期待できる。実際に暑い日に、土の上と芝生の上とで暑さを比較したところ、温度変化に違いはなかったが、触ってみると芝生の方があまり暑さを感じなかった。



大きく育ててね。

7月4日



1ヶ月が経ち、ランナーが広がってきています。



緑が増えました。子供たちもたくさん遊んでいます。踏めば踏むほど強くなる芝たち。

現在芝を植えてもうすぐ3ヶ月。今年の暑い夏を乗り越え、秋の運動会を緑の芝生の上で実施することを楽しみにしているところである。

【担当】 副校長 砂場路子（附属小学校）

附属中学校生徒会 附中版SDGsの確立 ～社会に貢献する附属中学校に向けての取り組み～

附属中学校

教育



【活動概要】

現生徒会執行部は、「附中版SDGsの確立」を柱として、日々の委員会活動でSDGsの観点を取り入れた取り組みを行いました。一部を紹介します。

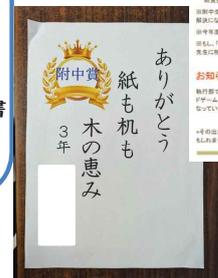
- 学習委員会《10・12・14・15》
「SDGs標語づくり」
→SDGsに対する興味や関心を深めてもらうために、17項目の中の1つをテーマに標語づくりを行いました。作成した標語は全校で投票した後、校内に掲示して、意識付けするような環境づくりをしました。
 - 給食委員会《1・2》
「“食”について考えよう」
→“食”カルタを作成し、食べ物について楽しみながら知ってもらうことで、残量の削減を目指しました。
「給食モニタリング」
→各クラスで牛乳と食缶の残量を観察し、牛乳の残りが0本なら◎、1～5本なら○、6～10本なら△、11本以上なら×、食缶の残量は毎日何キロ残っていたかを計測し、所定の掲示物に記入することで残量を可視化し、減らしていこうという取り組みを行いました。
 - 福祉委員会《16・17》
「被災地への募金活動」
→令和6年能登半島地震への募金活動を行いました。1週間で約11万円の募金が集まり、日本赤十字社へ寄附しました。
- この他にも、保健委員会「健康な体作りのためのイベント」《3》や図書委員会「SDGsに関する本を集めた読書月間の実施」《1～16》、生活委員会「調査!生活ノート×名札着用率」《17》などのイベントを行いました。生徒たちは友達や先輩、後輩と協力して、どの活動にも意欲的に取り組み、SDGsへの意識を高めていました。



附中版SDGsについて

※目的 附属委員会
今年度の柱となる取り組みとして「附中版SDGsの確立」を掲げています。附属生徒会執行部は、附属中学校の生徒会として、17の目標を軸に様々な取り組みを行い、社会に貢献する取り組みを行ってまいります。

概要
①委員会としてSDGsの目標の観点から1つ1つ取組んだ取り組みを行います。
例)学習委員会 ⑩ 貧しい人々を助けること ⑫ 消費を減らすこと
保健委員会 ③ 健康を助けること ④ 清潔な水とトイレを確保すること
図書委員会 ① 貧しい人々を助けること ② 質の高い教育をみんなに ④ 公正な消費を促すこと
福祉委員会 ① 貧しい人々を助けること ② 質の高い教育をみんなに ④ 公正な消費を促すこと
生活委員会 ① 貧しい人々を助けること ② 質の高い教育をみんなに ④ 公正な消費を促すこと
環境委員会 ① 貧しい人々を助けること ② 質の高い教育をみんなに ④ 公正な消費を促すこと
体育委員会 ① 貧しい人々を助けること ② 質の高い教育をみんなに ④ 公正な消費を促すこと
文化委員会 ① 貧しい人々を助けること ② 質の高い教育をみんなに ④ 公正な消費を促すこと



お知らせ
附属生徒会では本年度、とある目標はSDGsの目標を軸に行いたいと考えています。そこで17の目標を軸として、SDGsの目標を軸として取り組むことになりました。SDGsの目標を軸とした取り組みを行い、社会に貢献する取り組みを行ってまいります。

【担当】 鳥取大学附属中学校生徒会

高等部本科 作業学習「ものづくり班」附属SPプロジェクト
～ピザ販売におけるSDGs～

附属特別支援学校

教育



【活動概要】

本校には、地域の方々と一緒に作ったピザ窯があり、高等部では、ピザをいろいろな人に食べてもらうために試行錯誤しながら改良に努めている。農園で栽培している規格外のトマトでピザソースも作っている。

作業学習「ものづくり班」において、SDGsの観点から再利用して使えるピザ用の皿を開発したいと思い、特別非常勤講師の陶芸の専門家と一緒に作成に取り組んだ。また、本校の生徒が作った皿とわかるよう附属デザインを考案した。ピザの切りやすさや色を特に工夫し、ついに完成した。今後は、ピザと皿と一緒に販売したい。また、校内や地域の方向けに絵付けなどのワークショップを行い、身につけた技術を生かすことも行った。



附属デザイン

【担当】井上 早裕子（附属特別支援学校）



規格外のトマトでピザソース作り



手作りピザ窯で焼いてピザの完成



ピザが切りやすい平たいデザインのピザ皿完成
色は白と黒の2色